

【報告事項1】 2023年度 事業報告の件

2023年度 事業報告

〔 自 2023年 4月 1日
至 2024年 3月 31日 〕

公益財団法人 ENEOS 東燃ゼネラル研究奨励・奨学会

事業報告

〔 自 2023年 4月 1日
至 2024年 3月 31日 〕

I 法人の概況

1. 設立年月日： 昭和32年（1957年）11月27日
2. 定款に定める目的：

この法人は、大学理工系の学部学生・大学院生に対し奨学援護を行うとともに、若手研究者の科学技術に関する研究開発の奨励及び助成を行うことにより、わが国の工業の発展と産業における生産技術の振興を図ることを目的とする。
3. 定款に定める事業：
 - (1) 奨学金の給与
 - (2) 奨学資金を受ける学部学生・大学院生の指導
 - (3) 科学技術に関する研究開発の奨励
 - (4) 科学技術に関する調査研究の助成
 - (5) 科学技術の研究の成果の普及に関する助成
 - (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
4. 所管行政庁に関する事項： 内閣府
5. 主たる事務所の状況（2024年3月31日現在）： 東京都中央区
6. 役員及び評議員に関する事項（2024年3月31日現在）

<役員>

役 職	勤務形態	氏 名	経 歴
理事長	非常勤	伊藤 陽二	元東燃ゼネラル石油(株) プロジェクトエグゼクティブ
常務理事	同	上野 清和	元東燃ゼネラル石油(株) プランニングエグゼクティブ
理 事	同	田村 昌三	東京大学 名誉教授
同	同	長島 昭	慶應義塾大学 名誉教授
同	同	斎藤 彬夫	東京工業大学 名誉教授
同	同	小久見善八	京都大学 産官学連携本部 特任教授（現職） 京都大学 名誉教授
同	同	西出 宏之	早稲田大学 理工学術院総合研究所 招聘研究教授（現職） 早稲田大学 名誉教授
同	同	神谷 知宏	元東燃ゼネラル石油(株) 執行役員 小売統括部長
監 事	同	高月 邦彦	元東燃ゼネラル石油(株) 企画管理室グループマネージャー/ 翻訳家（現職）
同	同	佐々木英明	元東燃ゼネラル石油(株) 執行役員人事担当
同	同	小林 進	元東燃ゼネラル石油(株) 経理部

<評議員>

氏名	経歴
國武 豊喜	九州大学高等研究院 特別主幹教授 (現職) 九州大学 名誉教授
朝倉 祝治	横浜国立大学 名誉教授
大倉 一郎	東京工業大学 名誉教授
戸部 義人	大阪大学 産業科学研究所 産業科学ナノテクノロジーセンター 招聘教授 (現職) 大阪大学 名誉教授
大聖 泰弘	早稲田大学研究院 次世代自動車研究機構 研究所顧問 (現職) 早稲田大学 名誉教授
滝澤 博胤	東北大学 理事・副学長、教授 (現職)
松下 秀司	元ゼネラル石油(株) 企画財務部長
五十嵐博之	元ゼネラル石油(株) プロジェクトエグゼクティブ
檜原 雄一	元ゼネラル石油(株) 取締役営業副本部長

7. 職員に関する事項： 男性1名(勤続年数3年0ヵ月)、女性1名(勤続年数12年10ヵ月)

8. 許認可に関する事項： 該当事項はありません。

II 事業の概況

1. 事業活動

財団は当事業年度において次のような活動を行いました。

奨学金給付事業においては、計画通り50名を一般奨学生として採用しました。内訳は、新規生が25名(計画は23名)、継続生は25名(計画は27名)となりました。その内、健康上の理由により1名が修学継続が困難となったため、財団奨学金給付規程の定めにより9月以降の給付を休止(その後停止)しました。また、10月入学のため学部3年生への進級が10月となった1名については、進級を確認後、10月から給付を開始しました。

今年度新たに、当財団奨学生の博士後期課程進学者支援給付が制度化されたことを受け、博士後期課程の在学者2名(年度予算は4名分計上)に対して奨学金の給付を行いました。

以上の結果、最終的に新制度対象者2名を含む52名の奨学生に対して一人当たり年間48万円(一部奨学生はその一部を給付)、総額2,444万円を給付しました。

月例会活動については、対面での月次会合を開催することで、奨学生間の相互交流などを通じた学業支援を維持することができました。

また、昨年度の「ワーキング・グループ(理事・選考委員)」による「奨学事業の価値向上」に関する提言に基づき、財団初の企画となる複数地区合同月例会を10月に仙台・東京・京都の三地区で開催、更に同月より奨学生間のWebサイト「奨学生のひろば」の開設・運用を開始しました。

研究助成金給付事業については、応募実績は前年度の30件から31件とほぼ横ばいとなり、1次・2次におよぶ厳正な選考を経た結果、合計24件の優秀な提案に対し総額2,690万円の研究助成金を給付しました。

近年の応募数減少の対応を図るために、指定大学・推薦大学3校の学術支援担当部局及び担当教授等への訪問・ヒヤリングを実施し、また財団選考委員への応募プロセス改善・推薦大学候補の洗い出し等のアンケートと選考委員会での意見交換を実施し次年度以降の応募方法の改善と推薦大学候補校の選定を実施致しました。今後も引き続き応募者により分かり易い申請手続きと、公平・公正な評価・審査プロセスの改善を図りつつ応募者の拡大に努めてまいります。

今年度は、約3年間続いたコロナ感染対策による社会活動の制約が緩和され、ほぼ通年で全国からの参加者を伴う従来型の対面での財団内会議や研究助成金贈呈式と卒業奨学生送別会を開催することができ、概ね年度計画どおりの公益事業活動を実行することができました。

また、会議形式としてWEB併用とすることで時間に制約がある関係者においても、多くの参加が可能となりました。更に、奨学生を対象とした相互交流Webサイト「奨学生のひろば」開設した一方、対面での複数地区合同での月例会を開催し、対面・Web双方の利点を掛け合わせた活動による当財団の価値向上を図る展開となりました。研究助成活動においても、大学窓口への対面訪問を通じて現場からの提言・課題を吸収することができ、今後の新たな対応や種々の工夫に取り組む礎となる活動の実施となりました。以上のとおり今年度はコロナ明けの財団活動として、奨学生および若手研究者に対する所定の支援ができたものと考えております。

財団の運営面では、6月定時評議員会において改選理事8名全員が重任となり、伊藤理事長の2期目がスタートしました。2022年7月に財団事務所をENEOS株式会社品川Wビルから日本橋茅場町にある「日経茅場町別館」へ移転したことに伴い、設備機器および会議室借用の独自調達によるコストが年間を通じて発生することとなりました。将来に亘る財政状況の変化および対応に関する検討状況は、適宜理事会に報告し検討の上、方向性を確認しつつ今後の対応を実施する予定です。

また、移転を契機に、財団関係者が最新の規程・基準類等の重要ドキュメントを随時・確実に閲覧できるようにこれらをクラウドに保存するなど、日常業務の効率化・コミュニケーションの円滑化・利便性向上のためITアプリケーションの利活用を図っています。

来期以降に向けて、財団役員および関係者等の個別の事情に伴う交代人事や変更に対しては、業務引継ぎ等のスムーズな移行に向けての対応を行っており、引き続き適切に対応してまいります。

なお、東燃ゼネラル石油株式会社との会社統合後7年となるENEOS株式会社とは財団窓口である総務部門および研究助成事業の支援を得ている中央技術研究所との関係維持・強化を図るために引き続き人的関係性の構築に努めています。また、当財団の所管行政庁である内閣府関連では、2020年11月の内閣府立入検査時の指摘事項への対応として、今年度において関係する規程・基準類の制定・改定をすべて完了致しました。引き続き公益財団法人としての信頼性醸成を念頭におき、ガバナンスの維持・強化に努めてまいります。

各事業の活動経過及び成果は次のとおりです。

(1) 奨学事業（第66期）：

- 1 奨学生数： 一般奨学生50名採用後、1名について健康上の理由により修学継続が困難となったため、財団奨学金給付規程第12条(休止)に基づき9月以降の奨学金給付を休止(停止)しました。10月入学のため学部3年生への進級が10月となった1名については、進級を確認後、10月から給付を開始しました。
- 今年度より、博士後期課程進学者支援給付を制度化したことに基づき、今年度該当者2名を採用しました。
- 当事業年度末に18名の奨学生が卒業して社会に巣立った結果、当財団創立以来の累計卒業奨学生は1,067名となりました。

指定大学別・大学院生別・学部学生別内訳 (2024年3月31日現在)

	北 大	東 北 大	東 大	東 工 大	横 国 大	早 大	慶 大	名 大	名 工 大	京 大	大 阪 大	九 大	合 計
大学院生	2	4	3	5	4	2	2	2	3	5	5	5	42
学部学生	1	1	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	8
一般計	3	5	5	5	4	4	4	2	3	5	5	5	50

(注)上記中1名は健康上の理由により2023年9月より給付停止

博士後期	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2 奨学給付額： 月額 4万円/1人 (年間 48万円)

3 主要な活動状況：

- 2023年2月21日 指定大学12校に新規奨学生候補者25名の推薦依頼
 同 4月20日 推薦応募申請提出締切り
 同 5月26日 選考委員会による最終選考
 同 6月 2日 理事会による奨学生採用議案の承認

2023年6月～2024年2月 各地区月例会開催

(コロナウイルス感染防止策を回りつつ対面の月例会開催・奨学金手渡しを実施しました)

2023年 10月 合同月例会(仙台:札幌/東北、東京:首都圏/福岡、京都:関西/名古屋)

現役奨学生交流サイト「奨学生のひろば」を開設

2024年 3月1日 奨学生送別会 (2022年度に卒業した奨学生を特別招待)

- * 当財団初の企画として、3地区(仙台・東京・京都)において複数地区合同月例会を開催、また仙台及び東京地区ではENEOS株式会社の協力により同社製油所見学を実施し、社会・企業体験訪問、対面での在籍奨学生間の研究発表・意見交換と親睦・交流を図りました。同時に Web での交流サイトを開設し、まずは現役奨学生間での交流を開始しました。

(2) 研究助成事業 (第43期) :

1 応募実績 (カッコ内は前年度実績)

- ・ 大学校数：13校(15校)・・・指定大学 8校 (10校) 推薦大学 5校 (5校)
- ・ 応募案件：31件(30件)・・・指定大学21件 (23件) 推薦大学10件 (7件)

2 研究助成金受賞者数及び総額

- ・ 対象者： 24名/12大学 (前年度 24名/13大学)
- ・ 助成金総額： 2,690万円 (前年度 2,720万円)

この結果、当財団創立以来の研究助成累計は延べ737件、約8億円となりました。

3 主要な活動状況：

2023年	6月21日	指定大学14校及び推薦大学11校に研究助成金募集依頼
同	8月31日	応募申請提出締切り
同	9月10日～9月24日	第1次選考作業を実施
同	9月25日	第1次選考審査結果決定
同	10月5日～11月15日	第2次選考作業を実施
同	11月20日	第2次選考審査会議
同	12月15日	選考委員会による最終選考
同	12月15日	理事会による研究助成案件選考議案の承認
2024年	2月16日	第43回研究助成金贈呈式開催
同	3月11日	受賞研究者(指定口座)への研究助成金の振込給付

2. 資金調達及び設備投資の状況

2023年度中における借入れ及び重要な設備投資並びに重要な施設の除却又は売却はありません。

3. 重要な契約の締結

該当事項はありません。

4. 届出及び理事会等会議に関する事項

(1) 申請、届出事項等

2023年4月 3日 博士後期課程進学者を奨学金給付対象者とする新制度の導入に関する変更届出(事業拡大)を内閣府に提出

2023年6月30日 2022年度事業報告および計算書類等を内閣府に提出

2023年7月 7日 6月23日開催の定時評議員会における改選理事全員(8名)の重任および同日開催の第2回理事会における代表理事選定(重任)に伴う法人登記を完了

2024年3月15日 2024年度事業計画及び収支予算書等を内閣府に提出

(2) 会議等開催状況

<評議員会>

会議とその開催日	議案・報告事項	審議結果
定時評議員会 2023年6月23日 (ザ・プリンスさくらタワー 東京) (対面とWEB会議の併用)	決議事項： 1) 2022年度 計算書類並びに財産目録承認の件 2) 任期満了に伴う理事選任の件 3) 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する基準 改定の件 報告事項： 1) 2022年度 事業報告の件 2) 資産運用状況の件 (1) 2022年度資産運用報告(実績ベース) (2) 2023年度資産運用執行方針及び計画 3) 2023年度 奨学生(新規生・継続生・博士後期課 程)採用の件 4) 2023年度 研究助成募集要項の件	承認 承認 承認 了承 了承 了承 了承

<理事会>

第1回理事会 2023年6月2日 (ザ・プリンスさくらタワー 東京) (対面とWEB会議の併用)	決議事項： 1) 2022年度 事業報告及び計算書類並びに財産 目録承認の件 2) 2023年度 奨学生(新規生・継続生・博士後期課 程) 採用の件 3) 2023年度 研究助成応募要項の件 4) 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する基準 改定の件 5) 定時評議員会に提出する理事候補者の件 6) 定時評議員会の招集及び付議事項に関する件 報告事項 1) 2022年度 資産運用状況(実績ベース)につ いて 2) 2023年度 資産運用執行方針及び計画(最新 版)について 3) 理事長及び常務理事の職務執行状況について (2023年2月~2023年5月)	承認 承認 承認 承認 承認 承認 了承 了承 了承
--	---	--

<p>第2回理事会 2023年6月23日 (ザ・プリンスさくらタワー 東京)</p>	<p>決議事項： 1) 理事長（代表理事）選定の件 2) 常務理事（業務執行理事）選定の件</p>	<p>承認 承認</p>
<p>第3回理事会 2023年12月15日 (ザ・プリンスさくらタワー 東京) (対面とWEB会議の併用)</p>	<p>決議事項： 1) 第43回（2023年度）研究助成案件の選考及び 助成金額の件 2) 規程類(「会計規程」及び「理事長・常務理事職務権 限規程」)改定の件 3) 事務局職員定年後の雇用契約更新の件 報告事項： 1) 資産運用状況と収支見通しについて 2) 奨学事業価値向上に関する進捗状況について 3) 理事長及び常務理事の職務執行状況について (2023年6月～2023年11月)</p>	<p>承認 承認 承認 了承 了承 了承</p>
<p>第4回理事会 2024年2月16日 (ザ・プリンスさくらタワー 東京) (対面とWEB会議の併用)</p>	<p>決議事項： 1) 2023年度 決算方針の件 (1) 重要な会計方針 (2) 指定正味財産の積立・取崩 2) 2024年度 事業計画及び収支予算等の件 (1) 事業計画 (2) 収支予算 (3) 資金調達計画及び設備投資計画 (4) 資産運用執行方針及び計画 3) 2024年度 奨学生募集の件 4) 2024年度 研究助成募集の件 報告事項： 1) 理事長及び常務理事の職務執行状況について (2023年12月～2024年1月)</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 了承</p>

<選考委員会>

<p>奨学生選考委員会 2023年5月26日 (ザ・プリンスさくらタワー東京) (対面とWEB会議の併用)</p>	<p>決議事項： 1) 2023年度 奨学生(新規生・継続生・博士 後期課程) 採用の件 報告事項：選考委員会新委員紹介について等</p>	<p>承認</p>
---	---	-----------

研究助成対象者選考委員会 2023年12月15日 (ザ・プリンスさくらタワー東京) (対面とWEB会議の併用)	決議事項：	
	1) 第43回(2023年度)研究助成案件の選考及び助成金額承認の件 2) 2024年度の募集プロセス改善の件 報告事項：選考委員会委員・委員長交代について等	承認 承認

5. 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移

(単位：万円)

事業年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
経常収益	7,103	7,181	7,275	7,261	7,640
経常費用	7,943	7,484	7,247	8,755	8,524
〔評価損益等調整前 当期経常増減額〕	-840	-303	28	-1,494	-884
評価損益等	-5,070	5,508	3,273	1,825	9,119
当期経常増減額	-5,909	5,205	3,301	331	8,235
資産合計	97,138	103,213	106,694	107,746	116,888
正味財産合計	96,518	102,523	106,425	107,403	116,307

III 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実 (後発事象)

該当事項はありません。

IV 事業報告の附属明細書

2023年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

以上